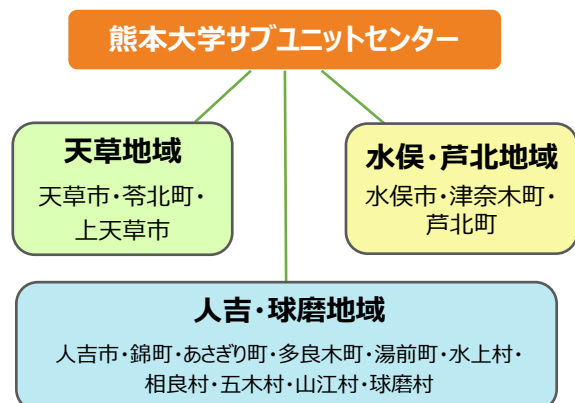


南九州・沖縄ユニットセンター（熊本大学）

実施体制



国立大学法人
熊本大学
Kumamoto University

参加者ステータス集計表（集計日 2024/12/21）

	人数 (にんずう)	割合 (わりあい)
出生数	3012	
現参加人数	2840	94%

熊本大学サブユニットセンターでは、人吉・水俣・天草・熊本大学で調査をしています。たくさんのお子さんが参加してくれています。

参加者とのコミュニケーション活動

【学童期検査参加人数】

・R6年度学童期検査
対象者 859人（県外者除く）

・参加人数
学童期検査 393人(採血213人)

学童期検査 参加者	人数 (にんずう)	割合 (わりあい)
天草地域	139人	35.4%
人吉・球磨地域	161人	41.0%
水俣・芦北地域	67人	17.0%
熊本大学	26人	6.6%

長い間、参加協力して
いただきありがとうございます♪

【学童期検査受付】



受付では、これまでの成長を確認したり、検査に不安がないように、その日の体調やよく眠れたかなど確認していきます。



【身体計測・精神神経発達検査】

検査会場が4か所あるため、その会場によって器具の設置など工夫しながら調査しています。



【採血の様子】



痛みをおさえるテープをはってるよ



ゲームをしながら気をまぎらわしてるよ

苦手な採血でも、痛みをやわらげるテープを使ったり、ゲームや動画を見てもらい、少しでも安心してで採血ができるように工夫しています。

研究から新たにわかったこと

「妊娠中のフェノールばく露と出生児の喘息発症の関連」

熊本大学小児科学講座 助教 倉岡 将平

洗剤や家庭用品、化粧品などに使われている化学物質のフェノールが4歳までの喘息発症に関連している可能性があることがわかりました。



Shohei Kuraoka, et al.(2024) : Association of phenol exposure during pregnancy and asthma development in children: The Japan Environment and Children's Study.

